今月のスマイル

まちのわだい My Town Topics

↓都市計画道路「神立停車場線」開通式典の様子

交 都市計画道路「神立停車場線」一部供用開始
通の利便性が大幅に向上

3月18日、本市地内の神立停車場線の開通式を行いました。神立停車場線は、JR神立駅と国道6号を結ぶ延長約2.3キロメートルの道路で、神立駅西口地区土地区画整理事業と併せ、土浦市と共同で整備を進めている事業です。一部供用開始により神立駅までの所要時間も大きく短縮され、更なる定住者人口の増大や、土浦市との地域間交流の活性化も期待されます。

和 情緒あふれる古民家で和の祭典
の雰囲気と古民家でタイムスリップ

3月31日、国指定文化財で東日本最古の古民家椎名家住宅(加茂)で「古民家 和の祭典」が開催されました。和の雰囲気が漂う会場では、子どもたちによるあでやかな日本舞踊の発表や心地よい音色の大正琴ひまわりの会の演奏が行われ、椎名家住宅の古き良き日本の文化や味わいも相まって、訪れた多くの方を魅了していました。

↑あでやかな着物姿で日本舞踊を披露する子どもたち

↓講師(長岡技術科学大学山本准教授)の話を熱心に聞き入る参加者

地 有害獣被害対策講演会
域ぐるみの効果的な被害対策

3月30日、あじさい館で「有害獣被害対策講演会」を開催。大勢の方が参加するなか「近年、荒廃した山林や耕作放棄地の増加、農作物の放置などにより、有害獣には住みやすい環境になっている。今後、農業者や地域の皆さんが、地域ぐるみでイノシシ対策を講じることが、被害を食い止めていく重要なカギである」との講話がありました。

春 かすみがうらライドクエスト　フルーツ春フェス
のおいしい魅力を健康的に体験！

3月31日、(株)かすみがうら未来づくりカンパニー主催「フルーツ春フェス」を開催。旬の果物を市内の果樹園で楽しみ、自転車で観光スポットを巡るイベントに32人が参加。タサキファームでは、真っ赤ないちごが参加者をお出迎え。参加者は「甘くておいしい。いくらでも食べられる!」と笑顔で話してくれました。サイクリングを通して、市の春の魅力を食べて・見て・感じることができた1日となったことでしょう。

↑笑顔で真っ赤ないちご(いばらキッス)を手に取る参加者

い平成31年1月23日に認定を受けた飯沼眞さん(上土田)ろ平成30年2月20日に認定を受けた宮本力さん(上稲吉)はに二人の茨城県伝統工芸士指導のもと獅子頭彫に没頭する会員の皆さん

い

ろ

は

に

伝 茨城県伝統工芸士認定
統工芸が引き継がれる

千代田公民館で「獅子頭彫刻同好会」の教室が月3回開催されており、茨城県伝統工芸士の認定を受けた飯沼眞さん、宮本力さんが講師として常陸獅子の伝統技法について、会員に指導しています。茨城県伝統工芸士認定は、高度な技術・技法を保持する者を伝統工芸士と認定し、後継者の育成や郷土工芸品を次代へ継承することを目的としています。代表の宮本さんは「伝統的な技術・技法を継承していくため皆さんと一緒に学んでいます。興味のある方はご参加ください」と話してくれました。

↓震災の犠牲者を思いキャンドルに火をともす参加者

次 チャレンジいばらき県民運動かすみがうらキャンドルナイト
世代へ紡ぐ震災への思い

3月10日、千代田庁舎で「かすみがうらキャンドルナイト」が開催されました。この事業は、千代田地区ネットワーカー等連絡協議会の主催で、東日本大震災の記憶や体験を風化させることなく、震災の犠牲者への追悼と家族や地域の絆への思いを次の世代へ紡いでいくことを目的としたものです。キャンドルのほのかな灯りを囲み、参加者は震災の犠牲者に黙とうを捧げました。

地 片山地方創生担当大臣視察
方創生の取り組みについて

3月9日、片山地方創生担当大臣が地域資源活用の好事例として、交流センターを視察。「かすみがうら未来づくりカンパニー」が中心となった「地域活性化DMO推進事業」について説明し、意見交換を行いました。大臣から「かすみがうら市はポテンシャルが高い。どんどんプロモーションをすればお客さんは増えると思います。頑張ってください」と力強い励ましの言葉をいただきました。

↑これまでの取り組みについて片山地方創生担当大臣に説明